

抗 Taf10(*S. cerevisiae*)抗体、ウサギ抗血清

商品コード	62-015
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.1% アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	大腸菌で生産されて組換え体出芽酵母 Taf10 (1-206 アミノ酸)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	出芽酵母 Taf10 タンパク質
アプリケーション	ウェスタンブロット
背景	基本転写因子 TFIID は、真核生物の遺伝子発現調節において中心的な役割を果たすことが知られており、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) と 14 種類の TBP 随伴タンパク質 (TAF) から成る巨大なタンパク質複合体である。TFIID は、転写開始点近傍に存在する各種のコアプロモーターエレメントを直接認識して結合し、他の基本転写因子群が集集するための足場を形成するとともに、転写調節因子に由来する転写活性化シグナルを RNA ポリメラーゼ II に伝達する役割を持つとされている。Taf10p は TFIID サブユニットの一つであり、出芽酵母の場合、206 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される。また Taf10p は TFIID と重複した機能を持つとされるヒストンアセチラーゼ複合体 SAGA のサブユニットにもなっている。このタンパク質は内部にヒストンフォールドを持ち、Taf3p, Taf8p とそれぞれ二量体を形成する。
Data Link	SGD TAF10/YDR167W
画像	 図1 抗 Taf10p 抗体を用いたウェスタンブロット法による Taf10 抗原の検出 出芽酵母抽出液 矢印は Taf10p のバンド 抗血清は 500 倍希釈して使用
文献	本抗体は下記の論文に記載され使用された。 1. Takahata S et al “Autonomous function of the amino-terminal inhibitory domain of TAF1 in transcriptional regulation.” <i>Mol Cell Biol</i> 24: 3089-3099 (2004) PMID: 15060133
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	